

[参考資料・リリース日本語訳]

2002年2月12日

報道関係各位

ノバルティス ファーマ（スイス）が発表しました、不安・うつ病治療薬「AC-5216」の契約締結に関するリリースの日本語訳をご参考までにお届けします。

ノバルティス ファーマ株式会社

大日本製薬、開発中の不安・うつ病治療薬について、ノバルティスにライセンス供与

2002年2月12日、スイス・バーゼル発 大日本製薬株式会社とノバルティス ファーマ（スイス）は、現在、非臨床過程にある、不安・うつ病治療薬「AC-5216（開発番号）」についてライセンス契約を締結したと発表しました。

現在、全般性不安障害（GAD）、社会不安障害（SAD）、パニック障害など、いろいろな不安症状を訴える患者は世界で約9千万人にのぼり、不安・うつ病治療薬の潜在市場規模は年間約80億スイスフランに達する成長市場とみられています。

この契約によってノバルティスは大日本が開発・販売に独占権を有する日本ならびにアジアの特定国を除く全世界において、AC-5216を独占的に開発・販売する権利を取得します。世界中で最適に承認申請と承認取得ができるように、両社の密接な連携のもと、開発が行われます。

ミトコンドリア型ベンゾジアゼピン受容体アゴニストであるAC-5216は、ベンゾジアゼピン系薬剤や選択的セロトニン再吸収阻害剤（SSRI）とは明確に異なる作用機序を有する画期的な新しい抗不安・抗うつ薬です。非臨床試験では、ミトコンドリア型ベンゾジアゼピン受容体アゴニストは、ベンゾジアゼピン系薬剤に典型的にみられる鎮静状態、筋弛緩、アルコールとの相互作用や嗜癖などの副作用なしに、速やかな作用効果が示されました。

ノバルティスは、いくつかの準備活動が完了次第、フェーズIの臨床治験を開始する予定です。

上記の発表には、現時点での将来への予想と期待が一部含まれております。従って、その内容に関しては、また将来の結果については、不確実な要素や予見できないリスクなどにより、将来の結果が現在の予想と異なる可能性があることをご了解ください。なお、詳細につきましては、ノバルティスが米国証券取引委員会に届けております Form 20-Fをご参照ください。